



インドにもどこにも 原発を売るな！



日立製作所の英ウィルヴァ原発輸出に反対し、日本政府の公的資金投入に反対する 3.20 院内集会

2018年1月11日、日立製作所傘下の英ホライズン・ニュークリア・パワー社が英中部ウェールズ地方のアングルシー島で進めるウィルヴァ・ニューウッド原発プロジェクトに日本のメガバンクや日本政策投資銀行、国際協力銀行（JBIC）などが出資金、融資額を合わせて1兆4千億円を供与し、メガバンク3行の融資については、日本貿易保険（NEXI）を通じて日本政府が全額保証するとの報道が駆け抜けました。

このプロジェクトは、日立製の130万キロワット級改良型沸騰水型軽水炉（ABWR）を2基設置する計画で、2019年着工、2020年代半ばの運転開始を目指し、総事業費は200億ポンド（約3兆900億円）とされています。

危険な原発の輸出を進める公的資金投入に反対する院内集会を開催します。ご参加をお願いします。

●日時：3月20日（火曜日）

午後1時30分～午後4時
（午後1時より通行証配布）

●会場：衆議院第一議員会館 第6会議室

●内容

1. 日立の英ウィルヴァ原発輸出事業は何が問題か？
福永正明（岐阜女子大学南アジア研究センター）

■菅元総理にスピーチを依頼中（裏面参照）

仮題「ウィルヴァ原発建設地域訪問と原発輸出問題」

2. 質疑応答と意見交換

3. 国会議員からのメッセージ

どなたでも参加できます。途中入退室での参加も歓迎！

参加費：無料

● 主催：核武装国インドへの原発輸出に反対する市民ネットワーク

● 連絡先：東京都新宿区築土八幡町2-21-301 なかま共同事務所 連絡：050-6862-6361

ウィルヴァ原発計画とは？

- 日立のホライズン社によるウィルヴァ原発新設事業の予定地は、2015年12月まで旧原発が操業していました。しかし、現地住民たちの原発反対の声は強く、長年にわたり反対運動が活発に行われていました。そうしたなかでの新規原発建設に対して、住民たちは非常に強い抗議の声を上げています。こうしたなか、住民たちの招きにより衆議院議員の菅直人元総理が2015年2月に現地を訪問されました。



● 2015年2月25日：菅直人元総理の現地訪問

菅直人元総理は、ウィルヴァ地域を訪問、東電福島第一原発事故の経験から、「原発事故の重大性、危険性」について講演、現地住民の反対運動グループとも交流しました。現地活動グループのサイトでは、多数の写真とともにこの様子が紹介されています。

